

## ☆葉脈って？

植物の葉っぱをよく見ると、たくさんの“すじ”が通っているのがわかります。この“すじ”を葉脈（ようみゃく）といいます。葉脈とは、葉っぱの中で、養分や水分を通すパイプのたばです。とても丈夫なので、私たちの骨のように、葉っぱを支える役目もしています。

## ☆葉脈標本の作り方

- ① 葉を用意します。ヒイラギやツバキ、キンモクセイなどのかたいものがよいです。
- ② 10%水酸化ナトリウム溶液（アルカリ性）で、弱火で20分、葉を煮ます。この処理で、葉脈以外のやわらかい部分（葉肉）が溶けて壊れやすくなります。
- ③ 食酢（酸性）で中和し、水で洗います。
- ④ 水を入れたトレーの中で、葉を歯ブラシでたたいて葉肉を落とし、葉脈だけにします。
- ⑤ 乾いた新聞紙などにはさみ乾燥させます。

⇒ 見た感じ、さわった感じはどうか？顕微鏡でも観察してみましょう。

\* 今日は、③まで処理したものを準備してあります。

## ☆しおりにしましょう

- ⑥ 台紙といっしょにプラスチックフィルムでラミネートします。台紙の色、飾り、リボンなどを工夫すれば、自分だけのおしゃれなしおりのできあがりです。

## ☆家でやってみる場合は・・・

水酸化ナトリウム水溶液の代わりに、10%の重そう（炭酸ナトリウム）水溶液を使うことができます。葉を煮るなべは、アルミ製では溶けるので、ホーローのものなどにしましょう。煮る時間は、だいたい20分程度ですが、葉によって異なります。

\* 水酸化ナトリウムや重そうは危険なアルカリ性の液ですから、目や皮膚につかないように十分に注意してください。

